



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月3日

上場会社名 イー・ガーディアン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6050 URL <https://www.e-guardian.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）高谷 康久
 問合せ先責任者 （役職名）常務取締役 （氏名）佐藤 伸 TEL 03-6205-8859
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績（2025年10月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第1四半期	2,644	△9.1	220	△46.4	228	△44.5	110	△54.8
2025年9月期第1四半期	2,908	2.4	411	2.4	412	4.6	245	13.3

（注）包括利益 2026年9月期第1四半期 119百万円（△50.8％） 2025年9月期第1四半期 243百万円（7.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	9.56	—
2025年9月期第1四半期	21.27	—

（注）「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年9月期第1四半期	13,247	11,761	88.8
2025年9月期	13,728	12,053	87.8

（参考）自己資本 2026年9月期第1四半期 11,761百万円 2025年9月期 12,053百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	0.00	—	38.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	5,738	△2.2	667	△28.2	680	△27.1	434	△28.6	37.52
通期	12,009	6.1	1,604	6.7	1,629	6.5	1,033	9.6	89.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

「1株当たり当期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期1Q	11,933,516株	2025年9月期	11,933,516株
② 期末自己株式数	2026年9月期1Q	339,671株	2025年9月期	339,671株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期1Q	11,593,845株	2025年9月期1Q	11,533,658株

(注) 期末自己株式数には役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明資料の入手方法)

決算説明資料につきましては、決算発表後速やかにT D n e t 及び当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直しを背景に、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の通商政策や地政学的リスクの影響による海外経済の不透明感および物価上昇の継続による景気の下振れリスク等により、景気の先行きには依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く国内のインターネット関連市場では、動画視聴やEC（インターネット通販）サービス、F i n t e c h関連サービスの拡大・成長傾向が継続しております。また、今後もインターネットにおける技術革新はますます進み、様々なサービスが展開されていくものと予想されますが、国家機関や特定の企業または組織等を狙った標的型攻撃をはじめとした機密情報の漏洩被害等のサイバー攻撃に加え、生成AIの普及に伴う新たなセキュリティリスクも著しく増加するなど、企業や個人のセキュリティ意識が一層問われる状況となっております。全てのインターネットユーザーが安心して利用できるよう、安全性を求める声は引き続き高まりを見せております。

このような市場環境のもと、当社グループは経営理念「We Guard All」を掲げる総合ネットセキュリティ企業として、「AIと人のハイブリッド」を強みに、高品質かつ高効率のセキュリティワンストップサービスを提供してまいりました。また、当社親会社である株式会社チェンジホールディングスと日本国内におけるサイバーセキュリティのトップベンダーとなるための取り組みを進めてまいりました。

当社グループの主力サービスであるソーシャルサポートサービス、及び成長分野として位置付けているサイバーセキュリティは、インターネットの安心・安全を実現するために必要不可欠なものであり、今後もサービス品質の強化、プロダクトの改善、充実に努めてまいります。

当第1四半期連結累計期間において、ソーシャルサポート事業では、全体として前下期から続いた減収傾向が底を打ち、さらにEC・フリマサイト向けのカスタマーサポートが伸びいたしました。また、営業組織をサービスカテゴリー別に再編成し、新規顧客の開拓に取り組んだ結果、ソーシャルサポート全体の新規顧客の売上高が前年同期比で増加いたしました。サイバーセキュリティ事業では、ホスティング事業者向けに提供しているWAF（※）の価格改定を実施するとともに、脆弱性診断についてAIを活用した作業効率化を行い、さらなる高収益体制の構築に注力いたしました。

一方、ソーシャルサポート業務での監視業務、本人確認業務での既存顧客の売上高減少や、サイバーセキュリティ業務での大型案件の失注による売上高減少等により、前年同期比で減収となりました。また売上の急激な減少に伴う労務費の調整が前下期から引き続き継続していることや、大型案件の立ち上げに向けた人材の先行投資を行ったことにより、前年同期比で減益となりました。

用語説明

（※）Web Application Firewallの略称。ウェブアプリケーションの脆弱性を悪用する攻撃を検出・防御し、ウェブサイトを保護するためのセキュリティ製品。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,644,481千円（前年同期比9.1%減）、営業利益は220,453千円（前年同期比46.4%減）、経常利益は228,631千円（前年同期比44.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は110,861千円（前年同期比54.8%減）となりました。

当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はありません。業務の種類別の業績は以下の通りであります。

① ソーシャルサポート

ソーシャルサポートは、ソーシャルW e b サービス等の様々なインターネットサービスを対象に、投稿監視、カスタマーサポート及び風評調査等を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、全体として前下期から続いた減収傾向が底を打ち、さらにE C・フリマサイト向けのカスタマーサポートが伸長いたしました。また、営業組織をサービスカテゴリー別に再編成し新規顧客の開拓に取り組んだ結果、ソーシャルサポート全体の新規顧客の売上高が前年同期比で増加いたしました。一方で監視業務、本人確認業務での既存顧客の売上高減少を吸収できず、減収となりました。

その結果、売上高は1,703,238千円（前年同期比8.8%減）となりました。

② ゲームサポート

ゲームサポートは、ソーシャルゲームを対象に、主にカスタマーサポート及びデバッグ業務等を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、全体として前下期から続いた減収傾向が底入れし、さらにカスタマーサポート及びデバッグ業務にて新規顧客の売上高が前年同期比で増加いたしました。一方で既存顧客の売上高減少を吸収できず、減収となりました。

その結果、売上高は292,489千円（前年同期比13.5%減）となりました。

③ アド・プロセス

アド・プロセスは、インターネット広告審査業務及び運用代行業務を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、広告審査業務にて売上高が前年同期比で増加いたしました。広告関連業務においても新規顧客の売上高が前年同期比で増加した一方、既存顧客の売上高減少を吸収できず、減収となりました。

その結果、売上高は324,204千円（前年同期比5.0%減）となりました。

④ サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティは、主に脆弱性診断、W A F、セキュリティの経営課題を解決するコンサルティングサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、ホスティング事業者向けに提供しているW A Fの価格改定を実施するとともに、脆弱性診断についてA Iを活用した作業効率化を行い、さらなる高収益体制の構築に注力いたしました。前年同期比にて新規顧客の案件数は増加している一方、大型案件の失注による売上高減少を吸収できず、減収となりました。

その結果、売上高は204,301千円（前年同期比2.6%減）となりました。

⑤ その他

その他は、主にハードウェアに対するデバッグ業務を提供しております。完全子会社であるE Gテストングサービス株式会社が、30年以上の経験とノウハウに裏打ちされた高品質なサービスを訴求し、深耕営業、新規開拓に取り組みました。

その結果、売上高は120,247千円（前年同期比20.8%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、11,967,331千円となり、前連結会計年度末における流動資産12,378,065千円に対し、410,733千円の減少（前連結会計年度末比3.3%減）となりました。

これは主に、現金及び預金が492,582千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、1,280,532千円となり、前連結会計年度末における固定資産1,350,268千円に対し、69,735千円減少（前連結会計年度末比5.2%減）となりました。

これは主に、のれんが24,063千円、敷金及び保証金が29,145千円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、13,247,864千円（前連結会計年度末比3.5%減）となりました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、1,486,500千円となり、前連結会計年度末における負債1,675,178千円に対し、188,677千円の減少（前連結会計年度末比11.3%減）となりました。

これは主に、未払法人税等が177,090千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、11,761,364千円となり、前連結会計年度末における純資産12,053,155千円に対し、291,791千円の減少（前連結会計年度末比2.4%減）となりました。

これは主に、剰余金の配当411,563千円を実施した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益110,861千円を計上したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当年度の業績予想は、2025年11月7日公表時点から変更なく、現時点で業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,986,379	10,493,797
売掛金	1,258,277	1,219,511
仕掛品	7,699	11,454
その他	125,958	242,816
貸倒引当金	△249	△248
流動資産合計	12,378,065	11,967,331
固定資産		
有形固定資産	537,770	549,028
無形固定資産		
のれん	192,507	168,444
ソフトウェア	80,308	106,335
その他	42,253	31,767
無形固定資産合計	315,070	306,548
投資その他の資産		
敷金及び保証金	425,443	396,298
その他	71,984	28,657
投資その他の資産合計	497,428	424,955
固定資産合計	1,350,268	1,280,532
資産合計	13,728,333	13,247,864
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,565	4,232
未払金	832,410	849,017
未払費用	11,841	1,162
未払法人税等	275,620	98,529
未払消費税等	161,551	161,280
賞与引当金	70,971	8,110
その他	142,156	178,004
流動負債合計	1,503,116	1,300,336
固定負債		
役員株式給付引当金	132,832	137,534
長期預り保証金	25,144	22,921
その他	14,084	25,707
固定負債合計	172,061	186,164
負債合計	1,675,178	1,486,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,967,618	1,967,618
資本剰余金	1,976,492	1,976,492
利益剰余金	8,705,795	8,405,098
自己株式	△633,669	△633,669
株主資本合計	12,016,237	11,715,539
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	36,918	45,824
その他の包括利益累計額合計	36,918	45,824
純資産合計	12,053,155	11,761,364
負債純資産合計	13,728,333	13,247,864

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年10月1日 至 2025年12月31日）
売上高	2,908,387	2,644,481
売上原価	2,009,658	1,961,257
売上総利益	898,728	683,224
販売費及び一般管理費	487,454	462,770
営業利益	411,274	220,453
営業外収益		
受取利息	2	4,996
補助金収入	2,579	5,190
助成金収入	1,199	2,044
その他	367	870
営業外収益合計	4,148	13,101
営業外費用		
為替差損	1,926	4,808
その他	1,372	114
営業外費用合計	3,299	4,923
経常利益	412,122	228,631
特別損失		
固定資産除却損	0	12
特別損失合計	0	12
税金等調整前四半期純利益	412,122	228,619
法人税、住民税及び事業税	133,283	78,643
法人税等調整額	33,540	39,114
法人税等合計	166,823	117,758
四半期純利益	245,299	110,861
親会社株主に帰属する四半期純利益	245,299	110,861

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年10月1日 至 2025年12月31日）
四半期純利益	245,299	110,861
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,915	8,906
その他の包括利益合計	△1,915	8,906
四半期包括利益	243,383	119,767
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	243,383	119,767

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額及びその他償却額は、以下の通りであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年10月1日 至 2025年12月31日）
減価償却費	21,210千円	18,343千円
のれんの償却額	24,063千円	24,063千円
その他償却額	10,485千円	10,485千円

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、インターネットセキュリティ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。